

平成 20 年度 農作物病虫害発生予察 9 月月報

平成 20 年(2008年) 10 月 2 日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	26.3	25.1	1.2	31.0	29.9	1.1	22.7	21.2	1.5
9.2	25.9	24.1	1.8	31.7	29.0	2.7	21.3	20.1	1.2
9.3	25.0	23.2	1.8	29.3	28.1	1.2	22.1	19.1	3.0
9.4	25.4	22.3	3.1	30.7	27.3	3.4	21.8	18.1	3.7
9.5	24.0	21.3	2.7	28.8	26.3	2.5	20.3	17.1	3.2
9.6	18.8	20.3	△ 1.5	21.8	25.5	△ 3.7	15.3	15.9	△ 0.6
平均・計	24.2	22.7	1.5	28.9	27.7	1.2	20.6	18.6	2.0
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	9.1	72	78	△ 6	2.5	30.2	△ 27.7	32.4	29.3
9.2	67	79	△ 12	0.0	32.9	△ 32.9	50.1	27.3	22.8
9.3	79	78	1	37.0	31.2	5.8	12.4	26.1	△ 13.7
9.4	78	77	1	10.5	28.8	△ 18.3	24.3	25.6	△ 1.3
9.5	77	79	△ 2	56.5	27.8	28.7	22.1	25.0	△ 2.9
9.6	76	78	△ 2	82.5	24.4	58.1	11.4	25.9	△ 14.5
平均・計	75	78	△ 3	189.0	175.3	13.7	152.7	159.2	△ 6.5

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 極早生種の成熟期は早かった。中生種の出穂期はほぼ平年並みで、成熟期は早まっている。
- (2) ダイズ : 生育はおおむね順調であった。
- (3) カンキツ : 着果数は少なく、夏季の乾燥により果実はやや小さい傾向であった。
- (4) ナシ : 果実の肥大は平年並みであった。
- (5) ハクサイ、キャベツ、はなっこりー
: 中山間地域では、ほぼ予定どおりに定植が終了し、生育はおおむね順調であった。平坦部では、降雨等により定植作業は遅れ気味だが、定植されたものについては、生育は順調であった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ(調査ほ場数: 中旬 59・下旬30) 穂いもち	中旬の巡回調査では、発生ほ場率30.5% (平年26.4%)、発病株率8.1%(平年6.5%)、 発病穂率0.7%(平年0.8%)で平年並みであ った。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年26.4%)、発病株率5.2%(平年7.0%)、 発病穂率0.3%(平年1.2%)で平年並みであ った。	県内全域	中 280 少 4,754 計 5,034
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率37.3% (平年45.0%)、発病株率6.7%(平年9.2%)、 発病度3.3(平年3.8)で平年並みであ った。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.3% (平年48.7%)、発病株率11.3%(平年 10.7%)、発病度6.2(平年4.7)で平年に 比べやや多かった。	県内全域	多 280 中 839 少 5,033 計 6,152
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.5% (平年13.3%)、発病株率4.7%(平年7.1%)、 発病度1.2(平年2.2)で平年に比べやや 少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年16.3%)、発病株率9.5%(平年10.7%)、 発病度4.0(平年3.6)で平年並みであ った。防府市の一部で多発ほ場が認め られた。	県内全域	多 559 少 1,119 計 1,678
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.7%)、発病株率0%(平年0.0%)、 発病度0(平年0.01)で平年に比べやや少 なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.3%)、発病株率0%(平年0.0%)、発 病度0%(平年0.01%)で平年に比べやや 少なかった。	—	—
もみ枯細菌病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7% (平年1.7%)、発病株率0.1%(平年0.2%)、 発病穂率0.00%(平年0.01%)で平年並みであ った。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年3.0%)、発病株率2.3%(平年0.4%)、 発病穂率0.13%(平年0.05%)で平年 に比べやや多かった。	県内全域	少 839

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 稲こうじ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(年5.4%)、発病株率0%(年0.5%)で平 年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (年11.8%)、発病株率0.4%(年1.1 %)で平年並みであった。	県内全域	中 280 少 279 計 559
内穎褐変病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率88.5% (年67.5%)、発病穂率4.9%(年3.1 %)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 1,398 少 11,465 計 12,863
トビイロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7% (年25.3%)、10株当たり虫数0.1頭(年8.0頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (年32.6%)、10株当たり虫数0.04頭(年27.9頭)で平年に比べやや少なかった。 坪枯れは定期巡回調査ほ場(86ほ場)及び 巡回調査経路上における視認調査では認 められなかった。巡回調査ほ場以外のほ 場では、9月26日に岩国市で小規模な 坪枯れが確認された。	県内全域	少 559
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率49.2% (年63.5%)、被害株率12.5%(年30.0 %)、被害葉率0.7%(年3.3%)で平年に 比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率56.7% (年58.2%)、被害株率18.0%、(年 29.6%)、被害葉率1.3%(年3.6%)で平 年に比べやや少なかった	県内全域	中 839 少 7,271 計 8,110
斑点米カメムシ 類	中旬のすくい取り調査における斑点米カ メムシ類の発生ほ場率24.0% (前年45.5 %)、20回すくい取り虫数0.7頭(前年1.2 頭)で前年並みであった。ミナミアオカ メムシは、発生ほ場率14.3%、20回すく い取り虫数0.26頭であった。	県内全域	多 279 少 1,392 計 1,671
ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(年1.0%)、被害株率0%(年0.09%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(年0.7%)、被害株率0%(年0.07%)で平 年並みであった。	—	—

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ダイズ 葉焼病、斑点細菌病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年55.5%)、発病株率19.8%(平年46.4%)、 発病度5.0(平年20.9)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 361
葉腐病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年6.3%)、発病株率0.2%(平年1.1%) で平年並みであった。	県内全域	少 33
べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年4.3%)、発病株率33.1%(平年1.6%)、 発病度8.3(平年0.4)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 361
白絹病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年2.9%)、発病株率1.0%(平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 33 少 98 計 131
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年52.4%)、1a当たり白変葉か所数は 2.0か所(平年1.9か所)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年36.0%)、1a当たり白変葉か所数は 3.9か所(平年2.6か所)で平年に比べやや 多かった。令期は若令～中令が中心であ ったが、老令も確認された。山陽小野田 市の一部で多発ほ場が認められた。	県内全域	甚 66 中 33 少 131 計 230
吸実性カメムシ 類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年59.9%)、1㎡当たり虫数0.5頭(平 年0.5頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年68.0%)、1㎡当たり虫数1.7頭(平 年1.3頭)で平年に比べやや多かった。発 生のあった種はアオカメムシ、ホソカメムシ、仔 メジカメムシ、ミミカメムシであった。	県内全域	甚 33 中 230 少 263 計 526
マヒメヤムシ [♂]	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年12.4%)、25株当たり被害度は0.1 (平年0.3)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.5% (平年3.6%)、25株当たり被害度は0.1(平 年0.1)で平年並みであった。	県内全域	少 66
ダイズサヤマハエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.5%)、200莢当たり被害莢数0莢(平 年0.2莢)で平年並みであった。	—	—

注1) ダイズは営農組合等の管理ほ場を主体に調査した。

注2) ダイズの面積は8月15日現在の市町調べ面積を元に算出した。

2 果樹

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平成99.6%)、発病果率51.3%(平成 71.3%)、発病度11.3(平成15.5)で平成 に比べやや少なかった。	県内全域	多 169 中 590 少 1011 計 1,770
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平成25.4%)、発病果率1.2%(平成3.5 %)、発病度0.2(平成1.1)で平成に比べ やや少なかった。	県内全域	少 253
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年17.8%)、発病果率0%(平成1.7%)、 発病度0(平成0.5)で平成に比べ少なかつ た。	県内全域	—
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平成25.5%)、寄生葉率5.3%(平成3.6 %)で平成に比べやや多かった。	県内全域	中 169 少 1,686 計 1,855
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率 52.4%(平成52.4%)、被害果率1.3%(平 年2.6%)、被害度0.5(平成0.8)で平成並 みであった。	県内全域	少 927
ハマカバラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成32.8%)、寄生果率1.4%(平成2.0 %)で平成並みであった。	県内全域	中 84 少 506 計 590
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率 14.3%(平成14.6%)、被害果率0.2%(平 年0.7%)で平成並みであった。	県内全域	少 253
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平成83.0%)、発病葉率1.8%(平成6.3 %)、発病新梢率15.9%(平成48.7%)で 平成に比べ少なかった。	県内全域	中 47 少 47 計 94
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年4.0%)、発病葉率0%(平成0.04%)で 平成並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平成11.0%)、寄生葉率1.8%(平成1.7 %)で平成並みであった。	県内全域	少 23
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアカカメムシ、ツ ヤカメムシ、クサギカメ ムシ)	8月5半旬～9月4半旬の予察灯(5か所計) における誘殺数は754頭(平成303頭)で平 年に比べ多かった。優占種はチャバネア カメムシであった。	県内全域	—

3 野菜

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ(調査ほ場数:中甸4・下甸9) 軟腐病	中甸の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下甸の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年4.3%)、発病株率0.2%(平年0.2%))、発病度0.4(平年0.1)で平年並みであ った。 初発生は9月24日(平年10月5日)に萩市で 認められ、平年に比べ早かった。	県内全域	少 20
白斑病	中甸の調査では、発生ほ場率0%(平年 2.2%)、発病株率0%(平年0.8%)、発病 度0(平年0.2)で平年並みであった。 下甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年5.4%)、発病株率0%(平年1.6%)、発 病度0(平年0.4)で平年並みであった。	—	—
べと病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.4%)、発病株率0%(平年0.1%)、発 病度0(平年0.01)で平年並みであった。 下甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年15.4%)、発病株率0%(平年6.4%)、 発病度0(平年1.7)で平年に比べやや少な かった。	—	—
黒斑病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年4.2%)、発病株率0%(平年0.2%)、発 病度0(平年0.1)で平年並みであった。 下甸の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年10.8%)、発病株率0.2%(平年0.8 %)、発病度0.1(平年0.2)で平年並みで あった。	県内全域	少 20
モザイク病	中甸、下甸の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年3.9%)、10株当たり虫数0頭(平年0.4 頭)で平年並みであった。 下甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年9.6%)、10株当たり虫数0頭(平年1.1 頭)で平年並みであった。	—	—
ヨトウガ	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.6%)、寄生株率0%(平年0.4%)で平 年並みであった 下甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年6.6%)、寄生株率0%(平年0.2%)で平 年並みであった。	—	—

2008年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年6.7%)、寄生株率0%(平年0.6%)で平 年並みであった 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.8%)、寄生株率0%(平年0.8%)で平 年並みであった。	—	—
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.0%)、10株当たり虫数0頭(平年0.02 頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年8.3%)、10株当たり虫数0頭(平年0.1 頭)で平年に比べやや少なかった。	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.9%)、寄生株率0%(平年0.4%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年24.1%)、寄生株率1.3%(平年1.0 %)で平年並みであった。	県内全域	中 26 少 26 計 52
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年4.1%)、寄生株率1.3%(平年0.1 %)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 26 少 26 計 52
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年3.3%)、寄生株率0.4%(平年0.1 %)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 26
キャベツ モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年9.2%)、10株当たり虫数0.1頭(平 年0.5頭)で平年並みであった。	県内全域	少 15
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年10.1%)、10株当たり虫数0頭(平年0.4 頭)で平年並みであった。	県内全域	—
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年14.4%)、寄生株率0.3%(平年0.7 %)で平年並みであった。	県内全域	少 15
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年38.1%)、寄生株率5.7%(平年3.4 %)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 15 中 31 少 62 計 108

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.2%)、寄生株率0% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	—
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.2%)、寄生株率0% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	—
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年12.9%)、寄生株率0.8% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	中 15
はなっこりー (調査ほ場数: 下旬1) 軟腐病	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
べと病、白斑病、黒斑病 (調査ほ場数: 下旬1)	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、10株当たり虫数5頭であった。	—	—
コナガ	下旬の巡回調査では、10株当たり虫数5頭であった。	—	—
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、寄生株率2%であった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
アリ類	下旬の巡回調査で、株元を食害する被害が認められた。被害株率2%であった。	—	—
野菜全般 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤における9月の誘殺数は、165頭(平年117頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—

2008年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																												
野菜全般 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、4,949頭(平年5,485頭)で平年並みであった。</p> <p>フェロモントラップ 8月5半旬～9月4半旬誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概 評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鞆市</td> <td>1,154</td> <td>559</td> <td>多</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>5,122</td> <td>5,154</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>1,039</td> <td>1,242</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>224</td> <td>749</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>868</td> <td>5,834</td> <td>少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>1,539</td> <td>1,629</td> <td>前年並</td> </tr> </tbody> </table> <p>※下関市と柳井市は8月5半旬～9月5半旬の合計 下関市の平年値は過去4年の平均値 柳井市は前年値との比較。</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概 評	鞆市	1,154	559	多	周南市	5,122	5,154	やや多	阿東町	1,039	1,242	平年並	萩市	224	749	やや少	下関市	868	5,834	少	柳井市	1,539	1,629	前年並	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概 評																												
鞆市	1,154	559	多																												
周南市	5,122	5,154	やや多																												
阿東町	1,039	1,242	平年並																												
萩市	224	749	やや少																												
下関市	868	5,834	少																												
柳井市	1,539	1,629	前年並																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、12頭(平年43頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																												
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、35頭(平年43頭)で平年並みであった。	県内全域	—																												

— お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ —

電 話 083-927-4006
F A X 083-927-4071
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者
普通作：藤村(病害) 中川(虫害)
果 樹：村本(病害) 殿河内(虫害)
野 菜：岡田(病害) 溝部(虫害)